

内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ支援賞」受賞のご報告

この度、AEGIS-Womenが令和6年度内閣府「女性のチャレンジ支援賞」を受賞しましたので、ご報告いたします。女性のチャレンジ賞、というのは起業やNPO法人の活動、地域活動にチャレンジしている女性個人や団体グループ、またそれらを支援している団体・グループを顕彰する賞であり、男女共同参画の機運を高めるきっかけとするために、内閣府男女共同参画局により平成16年度から実施されています。

(内閣府男女共同参画局ホームページ)

https://www.gender.go.jp/public/commendation/women_challenge/katudoug-r06.html#support

授賞式は2024年6月26日に「令和6年度 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」のプログラムの一部として東京国際フォーラムで執り行われました。会を代表して、河野恵美子会長、野村幸世前会長、大越香江副会長の3名で出席させていただきました。河野会長が壇上で加藤鮎子男女共同参画担当大臣より表彰状を、岡田恵子男女共同参画局長よりトロフィーを授与されました。



(式典の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=oD4h9eXMduY>)

会長のご挨拶

消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）会長
大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 河野 恵美子

平素より消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）の活動にご協力いただき、ありがとうございます。この度、AEGIS-Womenが内閣府男女共同参画局令和6年度「女性のチャレンジ支援賞」を受賞しましたのでご報告申し上げます。

当会は、男女共同参画の理念に基づき、女性医師・研修医・医学生の消化器外科領域への

参画を促進し、女性消化器外科医のキャリアの継続、そして活躍の場を広げることを目的に2015年11月27日に発足しました。以来、年3-5回のセミナー、年に1回の総会を開催、会員の皆様にネットワーキングと手術技術習得の機会を提供してまいりました。また、業務支援や労働環境改善、職場や家庭の男女共同参画について日本消化器外科学会をはじめとする関連諸学会と連携して活動してきました。その活動が結実し、日本消化器外科学会に男女共同参画委員会が設立されました。2022年には運営委員のコアメンバーが中心となって、手術執刀数の男女格差ならびに手術の短期成績に関する2本の論文を世界のトップジャーナルに出版しました(Kono E, et al. JAMA Surg.; Okoshi K, et al. BMJ)。2023年7月に開催された第78回日本消化器外科学会総会において、これらの論文の概要を広く紹介する機会を得、さらにこの時に女性消化器外科医に男性消化器外科医と同等の手術執刀機会を担保する「函館宣言」が採択されました。上記の活動が高く評価され、今回の受賞につながりました。

このような栄誉ある賞を受賞できたのも、会員の皆様のご協力によるものであり、ここまで会を支えてくださった全ての皆様に感謝の意を表します。今後も皆様の期待以上の成果が出せるように精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



編集：松永理絵、大越香江